

総 評

公益財団法人日本知的障害者福祉協会
会長 井上 博

橘前会長の願いから始まった全国小・中学生障害福祉ふれあい作文コンクールは、この度10回を迎えることができました。

この間、全国の小中学校の生徒の皆さんから 1,313 通の作品を寄せていただきました。

作品の募集にあたってご尽力いただいた都道府県協会の皆様、本コンクールの趣旨にご理解・ご協力をいただいた小・中学校の先生方に心より感謝申し上げます。

今年もすぐれた作品が多く寄せられましたが、ここ数年は、小学生、中学生ともに障害のある当事者からの応募が増えている印象があります。

自らも大変つらい体験をしたヴィクトール・フランクルという精神科医がいました。フランクルは人生を豊かにする三つの価値(ねうち)を表しています。

一つ目の^{そうぞうてきかち}創造的価値は、人間が行動したり何かを作ったりすることで実現される価値です。仕事をしたり、芸術作品を創作したりすることがこれに当たります。

二つ目の^{たいげんてきかち}体験的価値は、人間が何かを体験することで実現される価値です。芸術を鑑賞したり、自然の美しさを体験したり、あるいは人を愛し愛されることでこの価値は実現されます。

そして、三つ目の^{たいどてきかち}態度的価値は、人間が運命を受け止める態度によって実現される価値です。人生における様々な悲しいことや辛いことといった試練や困難にどのような態度で向かうかという価値です。

私は山形県で障害のある人に福祉サービスを提供する事業所で働いていますが、事業所を利用されている人は、障害という状況の中で、日々いきいきと笑顔を輝かせながら生活を送っています。このことは、フランクルのいう最高の態度的価値であると思います。そして、その姿をみて私や事業所の職員、地域の皆さんも元気や勇気をもらいます。

今世界では各地で戦争が発生したり、大きな地震が発生したりと悲しみが広がっています。こんな時にこそ私たちは障害のある方から生き方を学ぶべきです。この作文コンクールが日本協会の大切な取り組みとして今後とも継続し発展することを願います。

全国の小中学校の生徒の皆さん、これからも皆さんの豊かな感性を土台とした心温まる作品をお寄せください。